

玖珠町ファーマーズスクール卒業式・入校式

玖珠町農業の新たな担い手の確保・育成を目的とした玖珠町ファーマーズスクールの卒業式と入校式が4月14日に行われました。

愛知県から移住し、森鹿倉の帆足源三コーチの下で2年の研修を終えた加藤拓之さん・あや子さんご夫妻が卒業し、新たに山田中山田の吉武重治コーチの下で2年の研修を始める福岡県出身の工藤康晴さんが入校しました。

加藤さんご夫妻はこれから独立し、美味しいトマトを皆様の食卓に届けていきます。工藤さんは白ねぎを中心とした作物の栽培技術を身に付けていきます。

卒業されたお二人の今後の活躍と、入校された工藤さんが早く玖珠町に馴染み就農できることを期待しています。



後列左から 神鳥浩明(大分県西部振興局 農山村振興部 部長) 茂登大介(研修生) 野村幸弘(就農コーチ) 矢幡陽理(就農コーチ)
前列左から 帆足源三(就農コーチ) 加藤あや子・加藤拓之(卒業生) 秋吉一徳(副町長) 工藤康晴(入校生) 吉武重治(就農コーチ)

敬称略

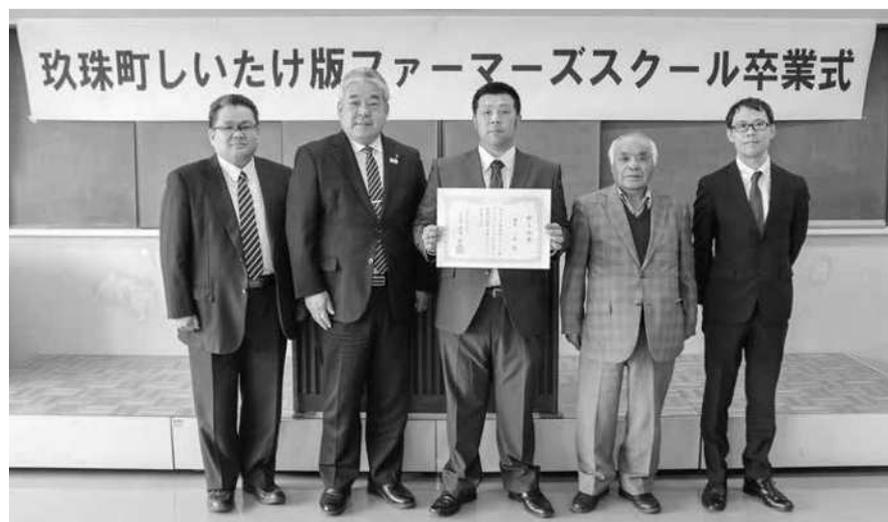
玖珠町しいたけ版ファーマーズスクール卒業式

4月14日に玖珠町しいたけ版ファーマーズスクール卒業式が行われました。

大分県として力を入れて取り組んでいる椎茸振興の新たな担い手の確保にあたって、令和元年度から玖珠町しいたけ版ファーマーズスクールを開校することとなりました。

スクール一期生として、梅木一弥さん(山浦・花香)が、祖父である梅木一己さん(山浦・花香)の下で、2年間の研修を終えられました。式の中で、宿利町長は「しいたけ生産者の平均年齢が上がっている中で若い世代は貴重な存在です。これから地域を担うリーダーとして頑張ってもらいたい。」と激励の言葉を述べられました。

今後は地域の担い手として活躍を期待しております。



左から神鳥浩明、宿利政和(町長)、梅木一弥(卒業生)、梅木一己(就農コーチ)、清田洋樹(大分県椎茸農業協同組合 久大支部 支部長) 敬称略